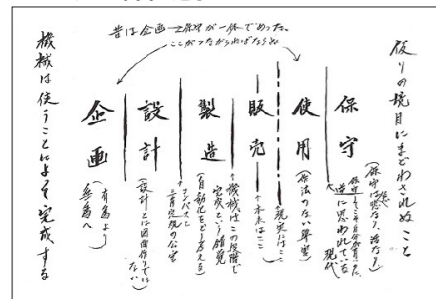


1. 生産

1-1: ホンダの生産技術の原点

「本田技研を始めるときも、一番初めも工機から始まった。いわゆる物を作る基本が機械である、その機械を作ることに始まって今の本田技研があるということなんです。皆さんは、製作所だけの意思で、研究所だけの意思で働くのではなくて、むしろ皆さんがいるいるなものをリードしてもらいたい」
(ホンダエンジニアリング EG50年史「本田宗一郎の言葉」)

ものづくりの本質を追求せよ (本田宗一郎 直筆の書より)



「機械(もの)はつかうことによって完成する」
「(仕事の)仮の境目にまどわされぬこと」

- ・企画は有為(うい)より無為(むい)へ: 現有データ分析から不変真理を追究し企画せよ
- ・設計とは図面づくりではない
- ・製造: 機械は製造完了段階での完成は錯覚である
- ・販売～使用: 本当の完成はココである 昔は企画～保守が一体であった
- ・作法のない弊害: 使い方がわからない機械は害となる(使い方をしっかり伝える)
- ・保守は慈悲なり活なり、保守してこそ自分が育った。(今は)逆に思われている

1-2: ホンダ生産技術思想

創業者・本田宗一郎の「短い工程・短いライン」「1工程マルチ加工」「ロスのない最高スピード加工」「高効率フレキシビリティ」「世の中に無いなら自分たちで作れ」という生産に関する考え方が、ホンダ生産技術思想の中心になっています。開発技術に関しては、世界最速最高スピード・ロス時間の短縮・同時加工・ワンチャックマルチ加工等々、普遍的であり、論理的であるこの思想が我々のDNAに刷り込まれており、生産技術部門における多くの従業員が無意識に行うレベルにまで達しています。設備およびラインシステムは、専用機からスタートして汎用性を高め、フレキシブルシステムに変わり、その後電動化への取り組みやデジタル技術を取り込んだ知能化への挑戦を行うなど様々な変化してきました。

ホンダものづくりの考え方
‘Honda 生産技術思想’
「世の中に無いなら自分達で作れ!」

- 短い工程・短いライン**
 - ・短工程を作れ、内外作を通じ部品の流れを見直せ
 - ・工程は少ないほど品質が良く効率上がり安全だ
 - ・設備(数)は最小限にし、仕事を無くし手間を省く
- 1工程マルチ加工**
 - ・ワンチャック多工程同時加工の高密度生産
 - ・加工基準は動かすな、ワンチャック多加工できる工夫を
- ロスのない最高スピード加工**
 - ・加工法を変えて加工時間を短縮せよ
 - ・正味 (NET) の加工時間を短縮せよ
- 効率の高いフレキシビリティ専用部ミニム化**
 - ・専用機生産ライン並みの高効率・多機種ライン
 - ・設取時間短縮、リードタイム短縮、機種チェンジ時間短縮

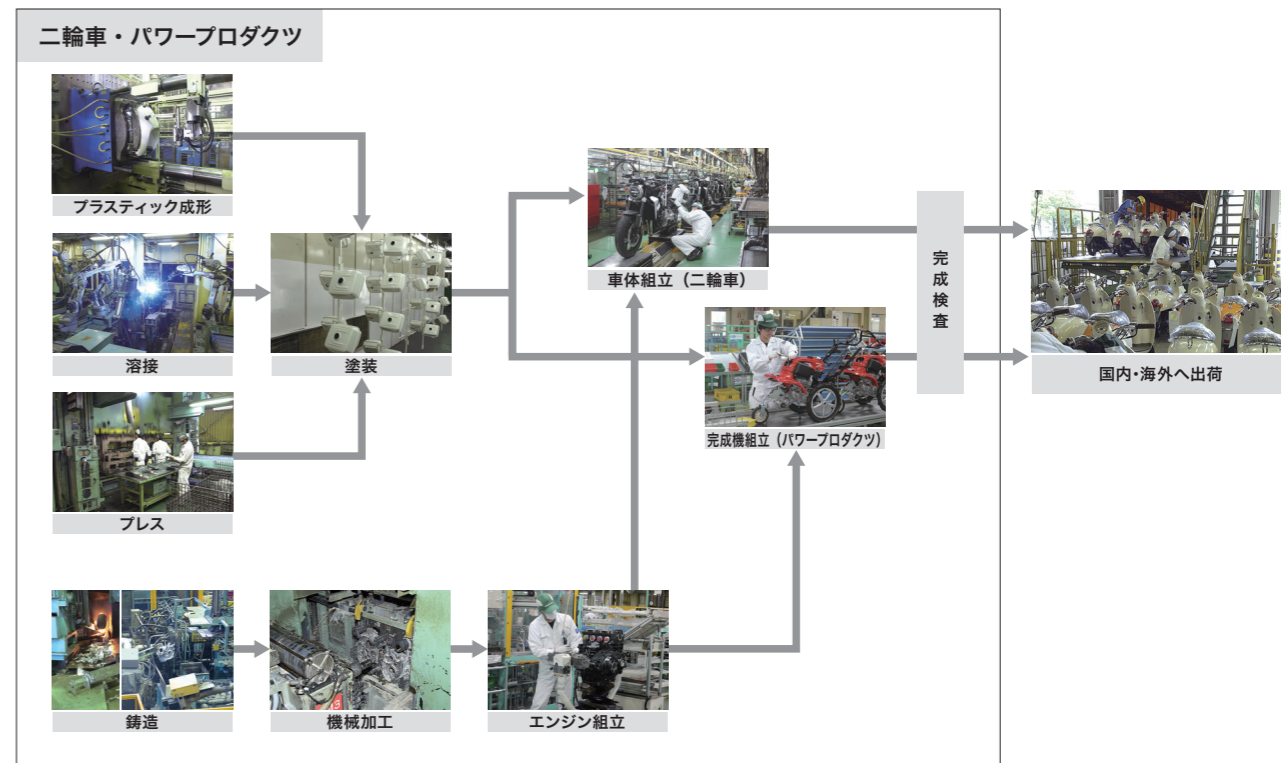
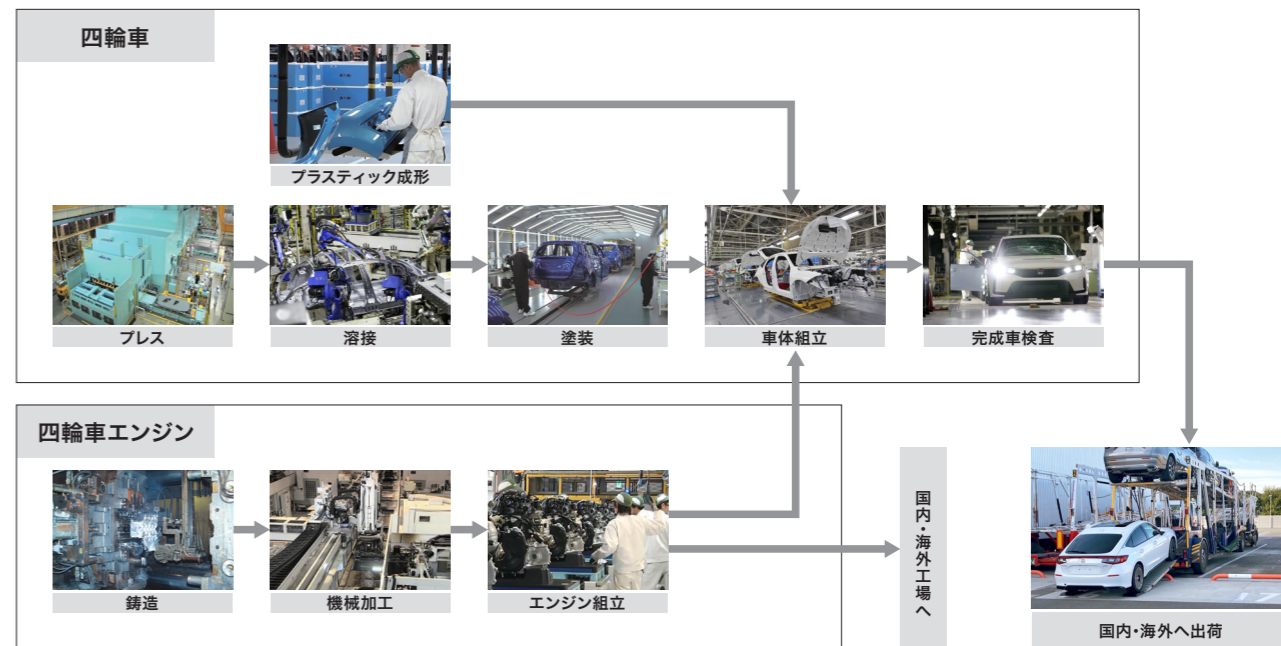
1-3: 生産取り組みの推移

	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	
				創成期	発展期	グローバル拡大期	体質改善期	変革期	変動期・多様化	転換期
				世の中に無かった技術を独自開発		日本をマザーとして北米開発		なんでも流せるいつでも移管できる		スモール電動化対応
主要工場		●東京白子工場稼働(HSS) ●浜松/和光工場稼働(M/Y) ●鈴鹿工場稼働(Sss)				●アメリカ四輪生産(HAM/AEP) ●カナダ四輪生産(HCM) ●イギリス四輪生産(HUM)		●インド四輪生産(HCIL) ●メキシコ新工場稼働(HDM) ●寄居/小川工場稼働(Yo/OG)		
			●狭山工場稼働(Css)				●中国四輪生産(GHAC/DHEC) ●タイ四輪生産(HATC)			
				●熊本工場稼働(K)						

1948年に創業したホンダは浜松市の山下工場機械加工、野口工場エンジン組み立てを行いました。1950年代には浜松・東京・埼玉工場二輪車の生産を開始。箱物と呼ばれる部品を加工するために独自の専用機械を開発し、1962年にはホンダの製品づくりに最適な加工機械と設備の製作を目的とする工機製作所を設立しました。1978年、米国に二輪車生産会社ホンダ・オブ・アメリカ・マニュファクチャリング (HAM) を設立し、現地化を推進。1980年代は多種多量生産を可能にしたモジュールトランスファーラインやゼネラルウエルダー (SM-GW) を開発。1980年代後半からグローバルに拡大した市場に即応可能なフレキシブル体質の構築に取り組みました。そして2010年代後半からは電動化・デジタル化へ対応した生産・製造技術への取り組みを進めています。

1-4: 生産工程

高い品質の製品を早く・安く・効率的に生産するため、ホンダ独自の生産技術による製造ラインで一貫生産を行っています。



1-5:グローバル生産事業体変遷・ホンダエンジニアリング沿革・主要技術変遷

	1946-1950年代	1960年代	1970年代	1980年代
グローバル		1968 ・二輪車世界生産累計1,000万台 ※ホンダ調べ		1983 1985 ・四輪車世界生産累計1,000万台 ※ホンダ調べ ・パワープロダクツ製品世界生産累計1,000万台 ※ホンダ調べ
日本	1946 ・本田宗一郎、静岡県浜松市山下町30番地に本田技術研究所として活動開始(後の山下工場) 内燃機関および各種工作機械の研究・製造を行う 1947 ・山下工場にて自転車用補助エンジン(A型:2ストローク50cc)生産開始 1948 ・浜松市野口町584番地に、野口工場新設、稼働開始 ・本田技術研究所を継承し、浜松市板屋町257番地に本田技研工業株式会社を設立(資本金100万円、従業員34名) 1950 ・マシン工場を購入、東京都北区上十条5丁目35番地に東京工場を設立 ・東京工場にてドリームD型車体生産開始。浜松より輸送されたエンジンを組み付け出荷開始 1952 ・埼玉県足立郡大和町白子の工場を購入、白子工場(埼玉工場)開設 ・白子工場、汎用エンジンH型生産開始 ・東京工場を閉鎖し、業務を白子工場へ移管 1953 ・埼玉県北足立郡大和町新倉に建設中の大和工場第一期工事を完了 ・浜松市住吉町に住吉工場を設置 ・山下工場・野口工場・住吉工場を組織統合し、浜松製作所発足 ・白子工場・大和工場を組織統合し、埼玉製作所発足 1954 ・浜松製作所 葵工場完成、野口工場/山下工場を閉鎖し葵工場へ生産移管 1956 ・住吉工場を閉鎖し葵工場へ生産移管	1960 ・鈴鹿製作所開設、二輪車スーパーカブの生産開始 1963 ・埼玉製作所でホンダ初の四輪車 軽トラック T360生産開始 ・浜松製作所でS500生産開始 1964 ・埼玉県狭山市に狭山製作所開設。四輪車生産工場・工機工場稼働開始 1967 ・鈴鹿製作所、四輪車TN360生産開始	1970 ・栃木県真岡市に埼玉製作所真岡分工場開設、稼働 1973 ・埼玉製作所と狭山製作所を統合し、埼玉製作所 狭山工場・和光工場とする 1976 ・熊本製作所稼働開始	1982 1983 1984 1986 ・埼玉製作所真岡工場、エンジン組立開始 ・浜松製作所に汎用機工場完成 ・狭山工場での二輪車生産終了(浜松製作所に移管) ・埼玉製作所真岡工場を真岡部品製作所として発足
主要開発技術 ホンダエンジニアリング 沿革		1962 ・本田技研工業(株)工機製作所を白子工場内に発足(9月) 1963 ・四輪生産特別企画室発足(白子工場内) 1964 ・狭山工業団地に狭山製作所工機工場を建設、白子から移設し稼働(11月) 1967 ・溶接専用機群による自動溶接ラインを新設(軍艦方式メインアッシャーライン3ポスト式 サイドパネルライン、マルチ溶接式フロアライン) (N360) 1969 ・1300ボディ溶接システム(スライドGW)	1970 ・ホンダ工機(株)設立(9月1日) 英名:HONDA ENGINEERING, Co.,Ltd ・本田宗一郎 初代社長就任(～1973年6月篠宮社長に交代) 1973 ・内製ロボットHRB1500開発 1974 ・ホンダエンジニアリング(株)創立(7月1日) ・工機(PT・We)に金型部門、新機種生産技術、生産技術研究開発(R&D)を統合 ・スイング式GWマシン開発 1975 ・テーブルトップTT型スポット溶接マシン開発 1976 ・安全進歩賞受賞(労働大臣賞)、トランジェントBL設置 1978 ・アコード用張り込みパッド製法(CP-I)開発	1980 ・設計学校開設(技術者教育) ・鈴鹿 溶接No.2ラインサブメインSMGWシステム導入 1981 ・英国BL社へ溶接ライン導入 ・大型一体フルバンパー樹脂成型技術開発 1982 ・エレクトロニクス生技(6技)BL新設 1983 ・自動化設計BL新設、フレキシブル・マニファクチャリング・システム化、車体組立、塗装領域強化 ・ENG箱物加工 モジュールマシン精機学会技術賞受賞 1984 ・FSR(ファンクショナルPOT溶接ロボット)開発 ・パウダースラッシュ製品の急速成形量産システム ・川越(ツール)工場開設(～98年閉所) ・新素材、FA(ファクトリー・オートメーション)BL新設 1985 ・ベル型(高電圧内部印加型)塗装ガンの開発 ・エレクトロニクス研究(3研)BL新設 1986 ・車体溶接高効率ライン大河内賞受賞、BP(Best Position/Production)計画 ・機能部品 製造BL新設、二輪/汎用BL新設 1988 ・EGA(米国)現地法人設立 ・EGB(タイ・バンコク)ツーリング・オフィス設置 ・品質管理QEC BL新設、メカ4WS生産 1989 ・機能部品生技開発BL新設
欧州/アフリカ/中東		1962 ・ベルギーに、二輪車生産販売会社ホンダ・モーター(後のベルギー・ホンダ(BH))設立 1963 ・ベルギー、ホンダ・モーターにて、二輪車生産開始。欧州経済共同体(EEC)圏内での日本企業による初の現地生産 ※ホンダ調べ	1974 ・イランに、Tizro Manufacturing Company(チズロ・マニファクチャリング・カンパニー)(TIZRO)設立 ・イタリアのI.A.P.インダストリアル(Industria Automotoagricola Produzione)(IAP)にて、ホンダの技術提携により二輪車生産開始(機種:CB125S) 1979 ・ナイジェリア、Honda Manufacturing (Nigeria) Ltd.(ホンダ・マニファクチャリング(ナイジェリア) Ltd.)(HMN)設立 ・英国・BL(ブリティッシュ・レイランド)社とトライアンフ・アクレーム(TRIUMPH ACCLAIM)、バラード(BALLADE)のライセンス生産技術供与調印	1981 ・ナイジェリア、HMNにて二輪車生産開始 ・Honda Italia Industriale, S.P.A.(ホンダ・イタリア・インダストリアル・S.P.A.)(HI)設立 1982 ・スペインのモンテッサ社と販売・技術提携、Montesa Honda S.A.(モンテッサ・ホンダ)(MHSA)設立 ・南アフリカ ユナイテッド・カー・アンド・ディーゼルのディーゼリビューターズ社(UCDD)でバラード生産開始 1985 ・英国に、Honda of the UK Manufacturing Ltd.(ホンダ・オブ・ザ・UKマニファクチャリング)(HUM)設立 ・フランスに、汎用製品生産会社 Honda France Industriale S.A.S (ホンダ・フランス・インダストリアル) (HF)設立 ・英国・ローバーが、ホンダとの共同開発車 ROVER800をローバー・カウリー工場で生産 1986 ・モンテッサ社と合併、Montesa Honda, S.A.U(モンテッサ・ホンダ S.A.U)(MHSA)設立
アジア/大洋州		1961 ・台湾に、三陽工業股份有限公司 San Yang Industry Co., Ltd. 設立 ・鈴鹿製作所から台湾へ二輪車のノックダウン® 生産用の部品セットを輸出開始 ※KD:knock-down kit 1962 ・ホンダとの技術提携により、台湾の三陽工業(SY)にて、ホンダ初の二輪車ノックダウン生産開始 ※ホンダ調べ ・パキスタンに、Atlas Autos Limited (アトラス・オートス・リミテッド)設立 1963 ・台湾に、光陽工業股份有限公司 Kwang Yang Industrial Co.,Ltd 設立 1965 ・タイに、二輪車と汎用部品を生産する合弁会社、Thai Honda Manufacturing Co., Ltd. (タイ・ホンダ・マニファクチャリング)(TH)設立。汎用製品の生産を開始 1967 ・THにて二輪車生産開始 1969 ・ホンダとの技術提携により、マレーシアの文秀(BSW)にて、二輪車生産開始 ・台湾・三陽工業(SY)との技術提携により、四輪車(N600、TN600)ノックダウン生産開始を発表(ホンダ初の海外四輪車生産) ・マレーシア・カーモーター Kah Motor Sdn. Bhd (HKL)との技術提携により、オリエントラルアッセンブラーズ(OA)にて四輪車(N360)ノックダウン生産開始	1971 ・インドネシア、P.T.Federal Motor(ビー・ティ・フェデラルモーター)設立 ・P.T.フェアラルモーターとの技術提携で、二輪車ノックダウン生産を開始 1973 ・フィリピンに、二輪車生産・販売合弁会社 Mariwasa Honda(マリワサ・ホンダ)設立 ・インドネシアに、P.T. Honda Federal(P.T.ホンダ・フェデラル)設立(初の海外部品専門工場) ・ホンダとの技術提携により、インドネシアのP.T. Prospect Motor(プロスペクトモーター)(PM)にて、四輪車生産開始 1976 ・タイに、二輪車・汎用部品生産合弁会社 Asian Auto Parts Co., Ltd.(エイシャンオートパーツ)(AAP)設立 ・ニュージーランド ニュージーランドモーター社にてシビック生産開始(NZMC LIMITED社) 1977 ・インドネシアに、車体部品会社P.T. Imora Honda(P.T.イモラ・ホンダ)設立	1983 1984 1985 1986 1987 1988 ・フィリピンに、Honda Philippines Inc.(ホンダフィリピンズ・インコーポレーテッド)(HP)設立、二輪車製造稼働 ・インド・ヒーローグループと二輪車生産合弁契約調印、Hero Honda Motors Ltd. (ヒーロー・ホンダ・モーターズ)(HHML)設立 ・インドに、Kinetic Honda Motor Ltd.(カイナーティック・ホンダ・モーター Ltd.)設立 ・タイのBangchan General Assembly Co., Ltd(バンチャン・ゼネラル・アッセンブリー)(BGAC)にて四輪車委託生産開始 ・インドに、汎用製品生産合弁会社 Shriram Honda Power Equipment(シュリラム・ホンダ)(SHPL)設立 ・HHML二輪車生産工場生産開始 ・インドに、Shriram Honda Power Equipment (シュリラム・ホンダ・パワーイクイップメント)設立 1986 ・インドネシアに、四輪車用エンジン・汎用部品生産合弁会社 P.T.Honda Prospect Engine Manufacturing (ホンダ・プロスペクト・エンジン・マニファクチャリング)(HOPE)設立 ・オーストラリアに、Honda Manufacturing Australia Pty. Ltd. (ホンダ・マニファクチャリング・オーストラリア Pty. Ltd.)(HMA)設立 ・THにて汎用エンジン生産開始 1988 ・ニュージーランドに、四輪車生産・販売会社 Honda Newzealand Limited(ホンダニュージーランド)(HNZ)設立

	1990年代	2000年代	2010-2020年代
グローバル	1997 ・二輪車世界生産累計1億台 ※ホンダ調べ	2008 2011 2014 ・二輪車世界生産累計2億台 ※ホンダ調べ ・パワープロダクツ製品世界生産累計1億台 ※ホンダ調べ ・二輪車世界生産累計3億台 ※ホンダ調べ	2016 2017 2019 2021 2023 ・四輪車世界生産累計1億台 ※ホンダ調べ ・スーパーカブシリーズ、世界生産累計1億台 ※ホンダ調べ ・パワープロダクツ製品世界生産累計1億5,000万台 ※ホンダ調べ ・二輪車世界生産累計4億台 ※ホンダ調べ ・HondaJet、200機目をデリバリー ※ホンダ調べ ・埼玉製作所 寄居工場稼働 ・(株)ホンダ ソルテック、事業終了 太陽電池の製造・販売から撤退 2018 ・八千代工業(株)の四輪完成車生産事業会社を完全子会社化、ホンダオートボディー(株)に称号変更 2021 ・四輪車エンジンやミッションの部品を製造するパワートレインユニット製造部(栃木県真岡市)の生産を2025年中に終了することを決定 ・埼玉製作所狭山工場の完成車生産終了
日本	1990 1991 1992 1993 ・埼玉製作所栃木工場発足 NSX生産開始 ・鈴鹿製作所での二輪車生産終了、熊本製作所と浜松製作所へ生産移管 ・埼玉製作所栃木工場を栃木製作所 高根沢工場、真岡部品製作所を栃木製作所 真岡工場に名称変更 ・栃木製作所芳賀工場 設立(四輪車デファレンシャルギヤ・4WDリヤデファレンシャル製作)	2001 2002 2004 2005 2006 2009 ・浜松製作所細江工場完成、船外機BFシリーズを生産開始 ・和光工場のパワートレイン生産を狭山工場へ移管し閉所 ・栃木製作所高根沢工場閉所 ・鈴鹿製作所、高根沢工場から移管車種(NSX、インサイト、S2000)生産開始 ・熊本製作所汎用機工場完成、生産開始 ・八千代工業(株)を連結子会社とし、軽自動車事業とグローバルでの部品供給体制強化 ・太陽電池事業子会社(株)ホンダソルテック設立 ・浜松製作所の二輪車エンジン生産終了。熊本製作所への移管完了(完成車は2008年に移管済) ・埼玉製作所 小川工場稼働開始	2010 2011 2012 2013 2014 2016 2017 2020 ・Wing6竣工、機能部品領域を車両電装領域へ統合 ・プレス金型3工程製法 ・ホツスタンプ製法開発と生産 2012 ・二輪ホットランナスタックモールド金型製法 ・EGID(インド)、EGA-X(メキシコ)開設 ・EGAS インドネシア分室、EGCH 武漢分室開設 2013 ・寄居新工場(プレス、溶接、ペイント、車両組立、VQ)新ライン導入 ・ローラヘム加工、スマートGW、インナーフレーム設備(寄居) ・AF人共存組立ロボット インバネ、ドア外し、タイヤ取付、IPU搭載装置(寄居) 2014 ・溶接i-GW導入(鈴鹿) 2016 ・車両セル組立ARCライン導入(HATC#3) 2017 ・サスマウント自動組立G-SUMRUF(ELPから適用) ・EGA-SV (シリコンバレー)設置、Wing3再開 2020 ・ホンダエンジニアリング(株)閉所、本田技研工業(株)へ統合(生産技術統括部へ移行 4月、ホンダ工機設立50周年 9月)
主要開発技術	ホンダエンジニアリング 沿革 1990 1992 1995 1996 1997 1998 1999 ・NSX用アルミボディ技術開発 ・細軸ENGバルブ成形法の確立 ・EGE(英国)現地法人設立、電動パワステ(EPS)生産 ・EG-T(栃木技術センター)新設('04年に全社移転) ・全社品質向上活動TQM 導入スタート ・営業サービスBL新設(外販開始) ・SR(スポット溶接ロボット)開発 ・ISO9001認定取得、EV-Plusモータ・PDU生産 ・建物建屋Wing2竣工、ISO14001認定取得 ・Wing3竣工、技能五輪取組み開始 ・PT実験量産ライン(S2000エンジン生産) ・EGAS(タイ)現地法人化 ・アルミ押出材3D曲げ成形技術 ・電動サーボガン開発 ・溶接ライン体質改革計画	2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 ・CVTベルト生産('04年Sss移管まで) ・溶接SPOT打点Off Lineティーチング開発 ・DE共創体制強化、ASIMO生産開始 2002 ・Wing5・FC(燃料電池)棟竣工(FC部品・キャパシタ生産) ・DEワンフロア開始 2003 ・ディーゼルエンジン生産(ASCT製造) 2004 ・スプレーインバネ製法開発 ・EG本社栃木へ移転、Wing4拡張 ・EGCH(中国) 現地法人設置、内製FCスタック生産 2005 ・アルミ熱間バルジ成形技術 ・狭山EG閉所(7月)、高根沢SU棟竣工(11月) ・ELP車体組立 新マルチマウントパレット設備導入 2006 ・CR-Vバンパーファミリー成形技術 ・鈴鹿 組立体改AFサブライン 双腕ロボットi-CAS開発導入 ・EGE ATR(先端技術調査)設置(EU調査研究) ・住宅用薄膜太陽電池生産、パワーモジュールパイロット生産 2007 ・ラインエンドテスタ 2.1世代(内製D開発) 2008 ・3領域執行体制(PT・車体・機能部品領域企画センター設置)	2010 2011 2012 2013 2014 2016 2017 2020 ・ケニアに、Honda Motorcycle Kenya Ltd.(ホンダ・モーターサイクル・ケニア Ltd.)(HMK)設立 ・ナイジェリアに、Honda Automobile Western Africa Ltd.(ホンダ・オートモービル・ウエスタン・アフリカ Ltd.)(HAWA)設立 2015 ・HAWA四輪車生産開始 2019 ・HUMにおける四輪車生産を2021年中の終了に限り労使間協議開始、トルコHTRでのCIVICセダンを2021年中終了を発表 2022 ・ガーナに、Honda Manufacturing Ghana Ltd.(ホンダ・マニファクチュアリング・ガーナ Ltd.)(HMG)設立
欧州/アフリカ/中東	1992 1994 ・フランスHFI、欧州の汎用品事業を統括したHonda Europe Power Equipment S.A.S(ホンダ・ヨーロッパ・パワーイクイップメント S.A.S)(HEPE)設立(その後、統括機能はHMEに移管し、HFMとなる) ・トルコに、Anadolu Honda Otobircilik A.S(アナドル・ホンダ・オートモビルセリク A.S)(TAH)設立 ・英国・ローバーグループ社との資本提携解消に合意 1994 ・HUM、四輪車アコード生産開始 ・トルコに、Honda Anadolu Motorsiklet Uretim Ve Pazarlama A.S(ホンダ・アナドル・モトシクレット)(HAT)設立	2001 2003 2008 ・HUM、第二工場完成、シビック生産開始 ・トルコ TAH(二輪車生産販売会社)とHAT(四輪車生産販売会社)を統合、Honda Turkiye A.S.(ホンダ・トルコ A.S.)(HTR)設立 2008 ・フランスに、Honda France Manufacturing S.A.S.(ホンダ・フランス・マニファクチュアリング S.A.S.)(HFM)設立	2013 2015 2019 2022 ・ケニアに、Honda Motorcycle Kenya Ltd.(ホンダ・モーターサイクル・ケニア Ltd.)(HMK)設立 ・ナイジェリアに、Honda Automobile Western Africa Ltd.(ホンダ・オートモービル・ウエスタン・アフリカ Ltd.)(HAWA)設立 2015 ・HAWA四輪車生産開始 2019 ・HUMにおける四輪車生産を2021年中の終了に限り労使間協議開始、トルコHTRでのCIVICセダンを2021年中終了を発表 2022 ・ガーナに、Honda Manufacturing Ghana Ltd.(ホンダ・マニファクチュアリング・ガーナ Ltd.)(HMG)設立
アジア/大洋州	1990 1991 1992 1995 1996 1997 1998 1999 ・フィリピンに、四輪車生産合弁会社Honda Cars Philippines, Inc.(ホンダ・カーズ・フィリピンズ)(HCP)設立 ・オーストラリアに、二輪車販売・汎用品(芝刈機)生産販売会社 Honda Australia M.C. & P.E. Pty. Ltd.(ホンダ・オーストラリア・モーターサイクル&パワーイクイップメント Pty. Ltd.)(AUH-MPE)設立 1992 ・HCPにて 四輪車(シビック)生産開始 ・タイに、Honda Cars Manufacturing (Thailand) Co., Ltd(ホンダ・カーズ・マニファクチュアリング(タイランド) Co., Ltd)(HCMT)設立 ・パキスタンに、四輪車生産販売合弁会社 Honda Atlas Cars (Pakistan) Ltd.(ホンダ・アトラス・カーズ・パキスタン)(HACPL)設立 ・フィリピンに、Honda Parts Manufacturing Corp.(ホンダ・パーツ・マニファクチュアリング Corp.)設立 1995 ・インドに、四輪車生産販売合弁会社 Honda Siel Cars India Ltd.(ホンダ・シエル・カーズ・インド)(HSCI)設立 1996 ・ホンダ・カーズ・マニファクチュアリング・タイランド(HCMT)アユタヤ工場開設、四輪車CITY生産開始 ・ベトナムに、Honda Vietnam Co., Ltd.(ホンダ・ベトナム Co., Ltd.)(HVN)設立 ・インドネシアに、汎用品の生産・販売新会社 P.T. Sinar Honda Jaya(P.T.シナル・ホンダ・ジャヤ)(SHJ) 設立 1997 ・HHML、第二工場閉所 ・HVNにて二輪車生産開始 ・HSCI、四輪車CITYの生産開始 1998 ・インドに、Honda Siel Power Product Ltd.(ホンダ・シエル・パワー・プロダクト Ltd.)(HSP)設立 1999 ・インドネシアに、P.T.アロスベクト・モーターとの四輪車生産販売合弁会社 P.T. Honda Prospect Motor (P.T.ホンダ・プロスペクト・モーター)(HPM)設立 ・インドに、二輪車生産・販売会社 Honda Motorcycle And Scooter India Pvt. Ltd.(ホンダ・モーターサイクル・アンド・スクーター・インド P.T. Pvt. Ltd.)(HMSI)設立	2000 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2009 ・マレーシアに、Honda Malaysia Sdn Bhd.(ホンダ・マレーシア Sdn Bhd.)(HMSB)設立 ・インドネシアのP.T.アストラインターナショナルと二輪車部品製造、エンジン・車体組立及び卸販売を行う P.T. Astra Honda Motor(P.T.アストラ・ホンダ・モーター)(AHJ)設立 ・HCMTとホンダ・カーズ(タイランド)を合併、Honda Automobile(Thailand)Co.,Ltd.(ホンダ・オートモービル(タイランド)Co., Ltd.)(HATC)設立 2002 ・インドネシアに、P.T. Honda Precision Parts Manufacturing (P.T.ホンダ・プレジション・パーツ・マニファクチュアリング)(HPPM)設立 ・台湾に、四輪車生産販売会社 台湾本田汽車股份有限公司(Honda Taiwan Co.,Ltd)(HTW)設立 ・HTWが四輪車生産開始 2003 ・HMSB、新四輪工場稼働開始(CR-V生産) ・ベトナムに、二輪部品生産会社 Vietnam Autoparts Co., Ltd.(ベトナム・オートパーツ Co., Ltd.)(VAP)設立 ・マレーシア・四輪生産会社オリエンタル・アッセンブリー(OA)がHMSB設立に伴う生産移管により生産を完了(1969年12月 N360生産開始から約35年間) 2005 ・インドネシア AHJが二輪車第三工場稼働 2006 ・タイに、四輪車補修用板金部品生産会社 Asian Parts Manufacturing Co., Ltd.(アジアン・パーツ・マニファクチュアリング Co., Ltd.)(APM) 設立 ・インドネシアに、P.T. Honda Power Products Indonesia(P.T.ホンダ・パワープロダクツ・インドネシア)(HPP)設立 ・パキスタンAHLが、ラホール市の二輪車生産工場稼働 2007 ・HTW 販売部門と製造部門の分社化。台湾本田の生産部門分社、四輪車生産会社 台湾本田汽車股份有限公司(Honda Taiwan Motor Co., Ltd.)(HTW-M)設立 2009 ・マレーシアのBoon Siew Honda Sdn.Bhd(文秀ホンダ Sdn.Bhd)(BSH)が 生販一体化した会社として稼働(設立は2008年9月)	2011 2012 2013 2014 2015 2016 2018 2020 2021 ・HMSI ラジャスタン州タブカラ二輪車生産第二工場稼働 ・タイ洪水被害により生産停止中のHATCが生産再開 ・HSCIから、Honda Cars India Ltd.(ホンダ・カーズ・インド・リミテッド)(HCIL)に変更 ・バングラデシュに、Bangladesh Honda Private Limited (バングラデシュ・ホンダ・プライベート Limited)(BHL)設立 ・マレーシアに四輪車用エンジン生産会社 Honda Assembly (Malaysia) Sdn. Bhd.(ホンダ・アッセンブリー (マレーシア) Sdn. Bhd.)(HASB)設立 2014 ・HCIL ラジャスタン州タブカラ工場四輪完成車組立生産開始 ・HVN二輪車生産第三工場稼働 2015 ・インドネシアに、P.T. Honda Power Products Production (P.T.ホンダ・パワー・プロダクツ・プロダクション)(HPPP)設立 2016 ・HMSIスクーター専用生産工場第四工場稼働 ・四輪完成車の量産で世界初となる流動型のセル生産方式ラインのARC*(アーク)ラインを開発、HATCプラチナブリ工場に導入 ※ホンダ調べ *Assembly Revolution Cell 2018 ・バングラデシュ BHL二輪車工場稼働 2020 ・HCP四輪完成車生産2020年3月終了(生産開始は1992年2月) 2021 ・タイに、Thai Honda Manufacturing Co., Ltd.(タイ・ホンダ・マニファクチュアリング Co., Ltd.)(TH)設立 タイにおける二輪車の生産と販売およびパワープロダクツの生産事業を一体化

	1946-1960年代	1970-1980年代	1990-2000年代	2010-2020年代
北米		1978 ・米国に、二輪車生産会社Honda of America Mfg., Inc. (ホンダ・オブ・アメリカ・マニュファクチュアリング) (HAM)設立 1979 ・ホンダに於ける北米初の生産拠点、HAM・メアリズビル二輪車生産工場稼働(MMP) (生産機種:CR250R) 1981 ・米国に、四輪車用パーツ生産会社 Bellemar Parts Industries,Inc(ベルマー・パーツ・インダストリーズ) (BPI)設立 ※AH、東京シート(株)、三恵技研工業(株)の出資による 1982 ・HAM四輪車生産工場にて乗用車生産第1号車アコードがラインオフ(MAP) (日本の自動車メーカーとして初の米国・現地乗用車生産開始) ※ホンダ調べ 1983 ・米国に、汎用製品生産会社Honda Power Equipment Mfg., Inc (ホンダパワーイクイップメント・マニュファクチュアリング Inc) (HPE)設立 1984 ・米国・HPE稼働、芝刈機生産開始 ・カナダに、Honda of Canada Mfg.(ホンダ・オブ・カナダ・マニュファクチュアリング)(HCM)設立 1985 ・HAM-Anna Engine Plant (HAM-アンナ・エンジン・プラント)(AEP)稼働(GL1200用二輪エンジン) ・メキシコに、Honda de Mexico, S.A. de C.V. (ホンダ・デ・メヒコ S.A. de C.V.)(HDM)設立 1986 ・HAMメアリズビル四輪工場(MAP)の第二ライン生産開始 1987 ・米国における開発生産体制拡充、米国車輸出計画など5つの戦略(ファイバート・ストラテジー)を日米同時発表 1988 ・HDMにて二輪車生産開始 1989 ・HAM・四輪車生産第2工場HAM-East Liberty Auto Plant(HAM・イーストリバティ工場)稼働(ELP) (シビック)	1990 ・米国 HPEにて欧州向け芝刈機用エンジン生産開始 1995 ・HDM四輪車生産工場にてアコード生産開始 1997 ・米国に、Honda Transmission Mfg. of America,Inc.(ホンダ・トランスミッション・マニュファクチュアリング・オブ・アメリカ Inc.)設立 ・米国に、Honda of South Carolina Manufacturing Inc (ホンダ・サウスカロライナ・マニュファクチュアリング)設立 1998 ・HCM第二ライン稼働、北米専用オデッセイ生産開始 1999 ・米国に、四輪車生産工場Honda Manufacturing of Alabama, LLC (ホンダ・マニュファクチュアリング・オブ・アラバマ) (HMA)設立 2001 ・HMA生産開始 2004 ・米国に、Honda Aero, Inc.(ホンダ・エアロ Inc.)(HAInc)設立 2005 ・米国に、Honda Precision Parts of Georgia, LLC.(ホンダ・プレジジョン・パーツ・オブ・ジョージア LLC.)設立 2006 ・米国に、航空機の機体開発、製造、販売を行う子会社、Honda Aircraft Company, LLC(ホンダ・エアクラフト・カンパニー)(HACI)設立 2007 ・米国に、Honda Manufacturing of Indiana, LLC (ホンダ・マニュファクチュアリング・オブ・インディアナ LLC)(HMIN)設立 2009 ・MMP二輪車生産終了	2011 ・HACI, HondaJet 生産工場完成 2012 ・HACI, HondaJet 量産1号機生産開始 2014 ・HDM 四輪車第二工場 Honda de Mexico S.A. de C.V. Celaya Auto Plant (ホンダ・デ・メヒコ S.A. de C.V. セラヤ・オート・プラント)(HDM-C)稼働 2015 ・ホンダ エアロ Inc.の航空エンジン工場が米国連邦航空局(Federal Aviation Administration, FAA)から製造認定取得 2016 ・米国・Performance Manufacturing Center(パフォーマンス・マニュファクチュアリング・センター) (PMC)でNSX量産開始 2021 ・米国の四輪生産関連法人と四輪開発機能を統合し、Honda Development & Manufacturing of America, LLC(ホンダ・ディベロップメント・アンド・マニュファクチュアリング・オブ・アメリカ) (HDMA)設立 2022 ・米国オハイオ州の工場を、北米におけるEV生産のハブ拠点とするEVの本格的な生産に向け米国・オハイオ州の3つの既存工場生産設備更新を発表 AEPでバッテリーケース製造 LGエナジーソリューションとのEV用バッテリー生産合弁会社の工場でのバッテリーモジュール生産 MAPとELPで生産するEVにバッテリーモジュール搭載 2023 ・LGエナジーソリューション(LGES)と、EV用リチウムイオンバッテリー生産の合弁会社L-H Battery Company, Inc.(暫定名称)を設立 ・米国のEV生産体制について発表 北米におけるEV生産のハブ拠点として進化させるため、オハイオ州内既存工場生産体制を変更 MAPとELPでEV生産、AEPでEVのIPUやバッテリーケースを生産
	南米		1971 ・ブラジルに、現地法人 Honda Motor do Brasil Ltda (ホンダ モーター ド ブラジル リミターダ) (HDB)設立 1975 ・ブラジルに、二輪車生産合弁会社Moto Honda da Amazonia S.A. (モトホンダ・ダ・アマゾンニア) (HDA)設立 1976 ・HDA、二輪車生産開始(CG125) 1978 ・アルゼンチンに、Honda motor de Argentina S.A (ホンダモーター・デ・アルヘンティナー・エス・エー) (HAR)設立 1981 ・HDA、アルコール二輪車(CG125)量産開始 1985 ・ブラジルに、Honda Componentes Da Amazonia Ltda. (ホンダ・コンポーネンツ・ダ・アマゾンニア Ltda.)設立	1993 ・HDA、発電機生産開始 1996 ・ブラジルに、四輪車生産販売会社Honda Automoveis do Brasil Ltda. (ホンダ・オートモベイス・ド・ブラジル)(HAB)を設立(1997年8月:生産開始) 2000 ・南米事業統括会社 Honda South America Ltda. (ホンダ・サウスアメリカ・リミターダ) (HSA) 設立 2003 ・HABでフィットの生産を開始、ホンダ初のフィット海外生産 ※ホンダ調べ 2006 ・HARが二輪車生産工場稼働 2006 ・ペルーに、二輪車生産会社Honda Selva del Peru S.A.(ホンダ・セルバ・デル・ペルー S.A.)(HSP)設立
中国		1982 ・ホンダと嘉陵機器廠(国营二輪車生産会社)との技術提携により、二輪車生産開始	1992 ・二輪車生産・販売合弁会社 五羊-本田摩托(広州)有限公司 (Wuyang-Honda Motorcycle (Guangzhou) Co., Ltd.) (WHM)設立 ・天津本田摩托有限公司(Tianjing Honda Motorcycle Co., Ltd.) (TJH)設立 1993 ・嘉陵-本田発動機有限公司(Jialing-Honda Motor Co., Ltd.) (JLH)設立 1994 ・福建閩東本田発動機組有限公司(Mindoug-Honda Generator Co.,Ltd) (FMH)設立 ・東風汽車公司との共同・鍛造部品生産合弁会社 東風本田汽車零部件有限公司 (Dongfeng Honda Auto Parts Co., Ltd.) (DHAC)設立 1998 ・中国の広州汽車集団公司、東風汽車公司と四輪車合弁契約調印 ・四輪車用エンジン生産会社 広州本田汽車有限公司(Guangzhou Honda Automobile Co., Ltd.) (GHAC)設立 ・四輪車用エンジン生産会社 東風本田発動機有限公司(Dongfeng Honda Engine Co., Ltd.) (DHEC)設立 1999 ・広州本田汽車有限公司(GHAC)、東風本田発動機有限公司(DHEC)でアコード生産開始、ホンダ初の中国四輪車。東風本田発動機有限公司(DHEC)でエンジン生産 2001 ・TJHが、海南新大洲摩托車股份有限公司の二輪事業部門と合併、新合弁会社、新大洲本田摩托有限公司(Sundiro Honda Motorcycle Co., Ltd) (SDH)設立 2003 ・湖北省武漢市に四輪車生産・販売合弁会社、東風本田汽車有限公司 (Dongfeng Honda Automobile Co., Ltd.) (WDHAC)設立 ・広州汽車集団有限公司、東風汽車公司との3社によるホンダ初の中国四輪車生産輸出合弁会社、本田汽車(中国)有限公司(Honda Automobile (China) Co., Ltd.) (CHAC)設立 2004 ・WDHAC、CR-Vの生産開始 ・中国事業を統括する本田技研工業(中国)投資有限公司(HMCI)が稼働 ・GHAC、フィット生産開始 2005 ・SDHの天津新工場稼働 ・JLHが事業内容変更、経営資源を汎用事業に集中させる方向で合意 ・CHACが欧州向け量産第1号車Jazz生産開始(6月輸出開始) ・四輪車用パワートレイン系部品生産会社 本田汽車零部件製造有限公司 (Honda Auto Parts Manufacturing Co., Ltd.) (CHAM)設立 2006 ・GHAC、広州に完成車第二工場となる増城工場稼働開始 2009 ・GHAC、広州本田汽車有限公司より広汽本田汽車有限公司 (Guangqi Honda Automobile Co., Ltd.)に社名変更	2011 ・JLH汎用製品新工場稼働 2012 ・WDHAC、第二工場生産開始 2015 ・GHAC第三工場*及び、エンジン工場稼働 ※第三工場は9月より稼働 2017 ・JLHとFMHが合併、JLHに一元化 2019 ・WDHAC第三工場稼働 2020 ・GHACがCHACを吸収合併 ・JLHを独立化、本田動力(中国)有限公司(Honda Power Products (China) Co.,Ltd.)(HPPC)へ社名変更 2022 ・本田動力(福州)有限公司(Honda Power Products (Fuzhou) Co.,Ltd.)(HPPF)設立 (HPPCから社名変更)

1-6：受賞歴一覧

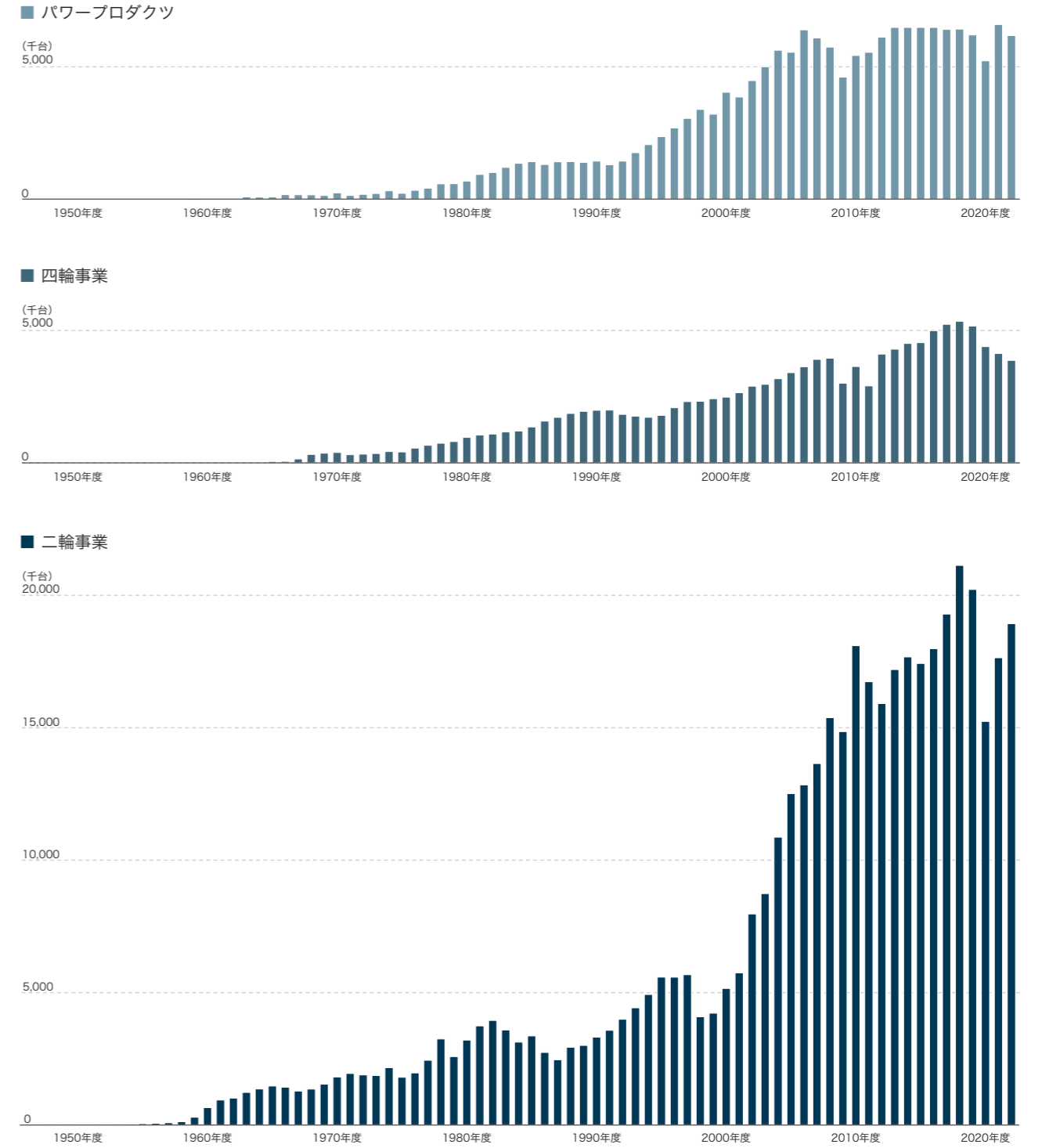
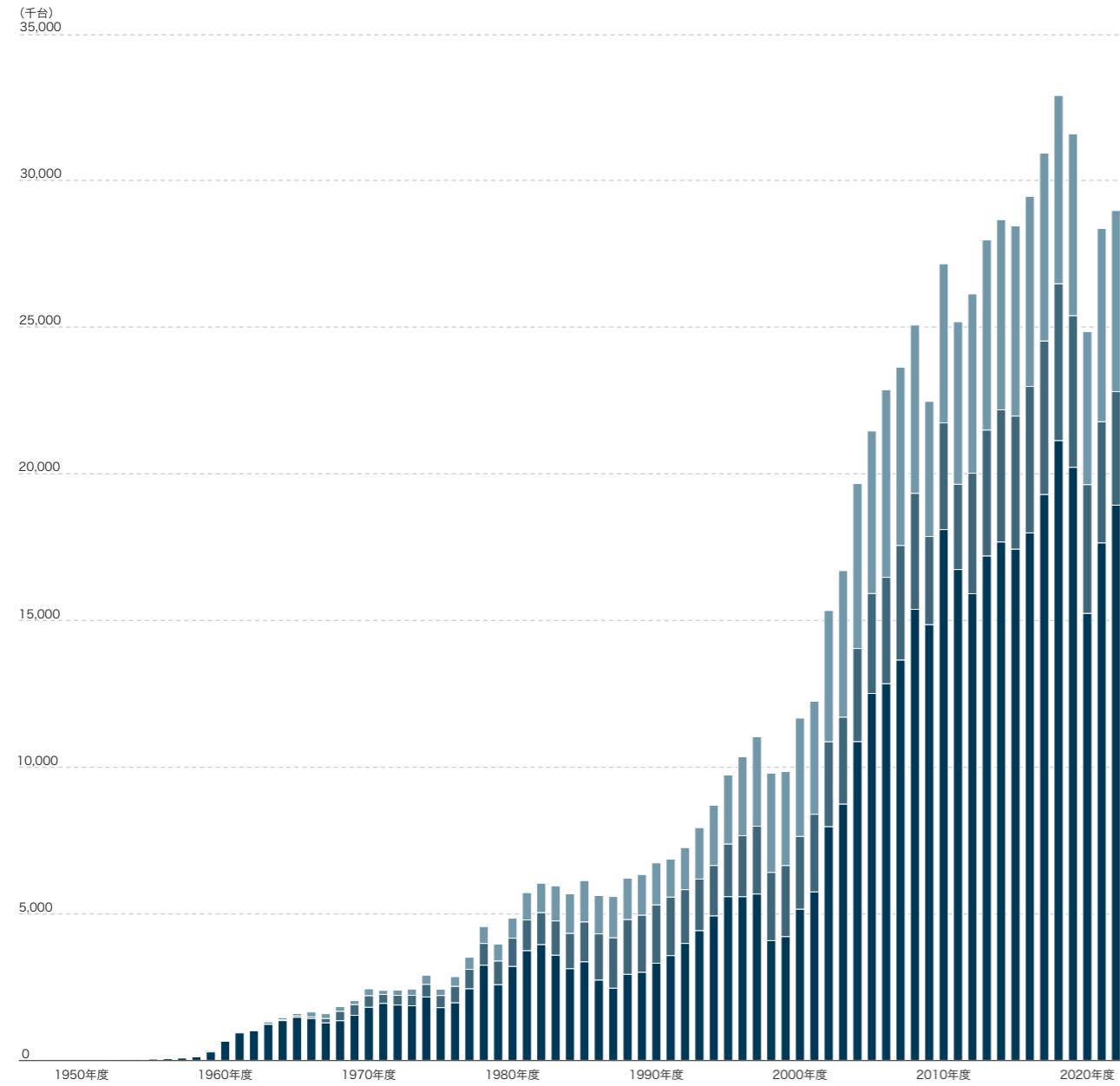
受賞年	賞名	受賞内容
1962	労働大臣安全優良賞	浜松製作所
1963	労働大臣安全進歩賞	鈴鹿製作所
	労働大臣衛生優良賞	埼玉製作所・浜松製作所
1965	労働大臣安全優良賞	鈴鹿製作所
1970	労働大臣安全進歩賞	埼玉製作所
	労働大臣衛生努力賞	鈴鹿製作所
1972	労働大臣衛生優良賞	鈴鹿製作所
1973	労働大臣安全優良賞	埼玉製作所和光工場
1976	労働大臣安全進歩賞	ホンダエンジニアリング
1982	通産大臣賞	省エネルギー活動 熊本製作所
1983	精機学会技術賞(現 精密工学会技術賞)	エンジン箱物品の高効率多種混流生産ライン(モジュールトランスファーマシン)の開発
1984	(社)機械振興協会賞	スラッシュ製品の急速成形量産システム
1986	(財)大河内記念 生産賞	高集積/高密度型、車体溶接システム
1991	(財)大河内記念 生産賞	高集積/高密度型、四輪車体塗装システム
	(社)日本機械学会賞	繊維強化複合材の採用による軽量コンパクトエンジン開発
	科学技術庁 注目発明賞	金型鑄造法及び金型鑄造装置
	色材協会 技術賞	水性ベースコートの開発
	(社)機械振興協会賞	多種多量生産用、高精度/高効率歯車研削盤開発
	労働大臣努力賞	労働衛生活動 埼玉製作所栃木工場(真岡工場)
	(社)日本機械学会賞	高付加金型鑄造システムの開発
1992	(社)日本鑄物協会 小林賞	アルミ複合材を用いた軽量コンパクトエンジンの開発
	科学技術庁 注目発明賞	直接抵抗溶接装置
	(財)素形材センター 通商産業省機械情報産業局長賞	自動車用鋳鉄部品の金型鑄造システムの開発
1993	(財)素形材センター 素形材センター会長賞	自動車用鋳鉄部品の金型鑄造システムの開発
	(財)素形材センター 素形材センター会長賞	自動車用鋳鉄部品の金型鑄造システムの開発
1994	FISITA'94 論文賞	高付加金型鑄造システムの開発
	栃木製作所真岡工場、栃木労働基準局長優良賞	高付加金型鑄造システムの開発
1995	(社)日本鑄物協会 技術賞	高付加金型鑄造システムの開発
	型技術協会 論文賞	次世代プレス金型材料の開発
1996	型技術協会 論文賞	高効率加工工具の開発
1997	超塑性加工学会 技術賞	二輪アルミタンク ブロー成形
	日本塑性加工学会 技術開発賞	超塑性ブロー成形による二輪車用アルミ燃料タンクの量産技術の開発と実用化
1999	(財)素形材センター 通商産業大臣賞	スクーター用アルミニウムダイカストフレームの開発
	小山田記念賞	自動車用アルミハイブリッドボディの開発
2000	(社)機械振興協会賞 通商産業大臣賞	自動車用アルミニウム骨格部材高精度曲げ加工システムの開発
2002	日本アルミニウム協会賞 開発賞	超塑性ブロー成型による自動車用アルミニウム製ハードトップの開発
2004	日本アルミニウム協会賞 技術賞	熱間成形用5000系アルミニウム合金材料の開発
2006	日本塑性加工学会 優秀賞 会田技術奨励賞	熱間チューブバルジ成形法の開発とサブフレームへの適用
2007	日本塑性加工学会 技術開発賞	汎用エンジン用燃料タンクへのカラー鋼板適用技術の開発
2008	日本塑性加工学会 技術開発賞	アルミホイールの軽量化技術及び高効率生産技術の開発
2009	型技術協会 奨励賞	熱間チューブバルジ製法における金型開発
	(財)素形材センター 素形材センター会長賞	自動車車体パネルの世界最速サーボプレスラインの開発
2010	(財)素形材センター 奨励賞	ATVホイール用高機能・低コスト生産技術の開発
2011	型技術協会 技術賞	車体金型への高速加工の取組み
	型技術協会 奨励賞	AI精密鑄造による真空成型型の工法開発
	(財)素形材センター 素形材センター会長賞	複合成形金型と金型制御装置を用いた1サイクル2部品同時成形技術の開発

受賞年	賞名	受賞内容
2013	型技術協会 技術賞	車体外板用ハイテンテラードブランク金型の開発
	型技術協会 型技術論文賞	ホットスタンプ型内トリム製法におけるサーボプレス活用の活用
	(財)素形材センター 素形材センター会長賞	アルミニウム-スチールハイブリッドドアの3Dロックシーム技術の開発
	公益社団法人発明協会 関東地方発明表彰	複層塗膜の形成方法及び塗装物の製造方法
2014	厚生労働大臣表彰	障害者雇用優良事業所 ホンダ太陽
	型技術協会 型技術論文賞	Acura「新型RLX」における新構造軽量ドア製法 3Dロックシーム技術の開発
2015	日本塑性加工学会 技術開発賞	「新型RLX」における新ドア製法 3Dロックシーム技術の開発
2015	型技術協会 奨励賞	ダイカスト金型の構造最適化への取組み
2016	型技術協会 技術賞	自動車用大物プレス部品における一工程金型の開発
2017	型技術協会 型技術論文賞	ハイテン材と薄鋼板によるテラードブランクの歩留まり向上のためのブランピング型構造の工夫
	(財)素形材センター 経済産業省製造産業局長賞	カット刃交互切替え金型によるブランピング技術の開発
	資源循環技術・システム表彰 奨励賞	アウトターブランク材の歩留り向上技術による副産物削減
2018	型技術協会 技術賞	2色一体成形・薄肉インパネのための金型技術の開発
	資源循環技術・システム表彰 産業技術環境局長賞	複動金型及び製品ビードによるスクラップ削減
2019	日本塗装技術協会 研究発表優秀賞	塗装プロセス現象解明に関する研究
	一般社団法人産業環境管理協会 経済産業省産業技術環境局長賞	自動車用クランクシャフト鍛造におけるバリ(スクラップ)削減新技術
	経済産業大臣賞 省エネ大賞	熱処理熱源ハイブリッド化によるエネルギー削減 熊本製作所

1-7: カテゴリー別暦年生産台数の推移

- パワープロダクツ
- 四輪事業
- 二輪事業

注1: 台数=完成生産台数
 注2: 単位 千台
 注3: 二輪、四輪、パワープロダクツのグローバル生産台数
 注4: 2013年度から2017年度のパワープロダクツの生産台数は、累計生産台数からの差分



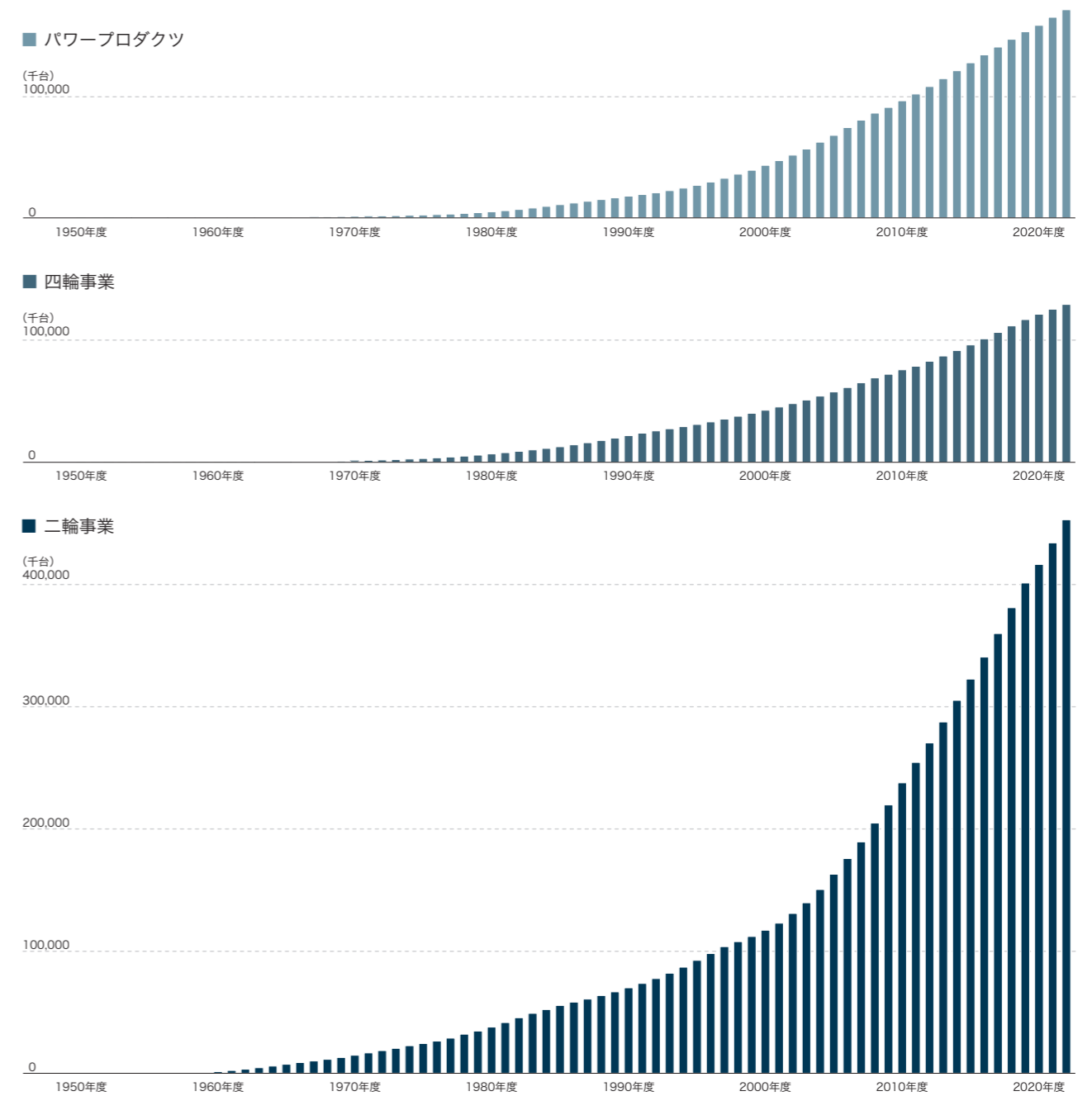
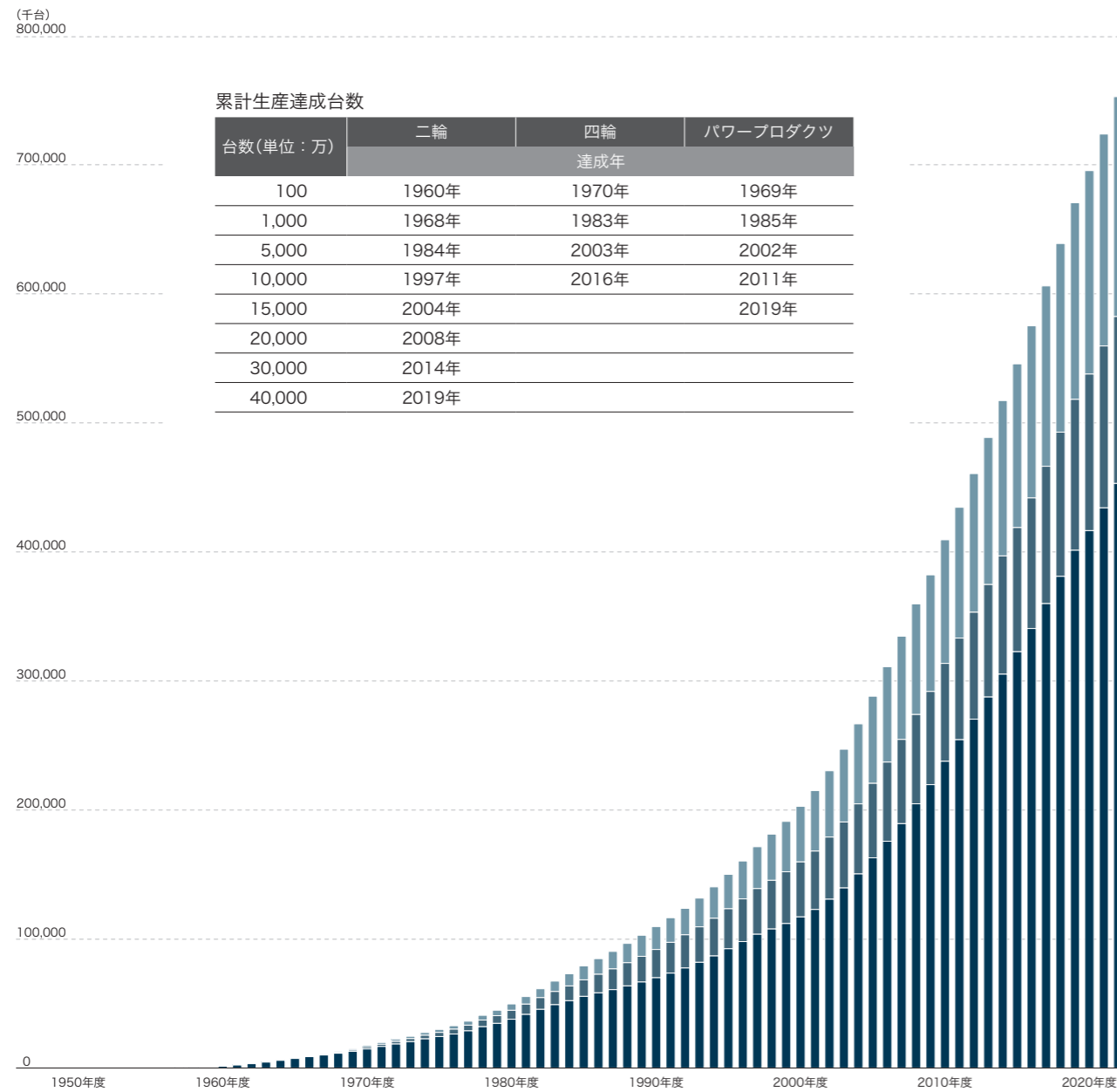
1-8: カテゴリー別累計生産台数の推移

- パワープロダクツ
- 四輪事業
- 二輪事業

注1: 台数=完成生産台数

注2: 単位 千台

注3: 二輪、四輪、パワープロダクツのグローバル生産台数



1-9：国内工場変遷

年	内容	業容
1946	・本田宗一郎、静岡県浜松市山下町30番地に本田技術研究所として活動開始 (後の山下工場)。内燃機関および各種工作機械の研究・製造を行う	エンジン改造(自転車補助エンジン)
1947	・山下工場にて自転車用補助エンジン(A型:2ストローク50cc)生産開始	エンジン組立(自転車補助エンジン)
1948	・浜松市野口町584番地に、野口工場新設、稼働開始 ・本田技術研究所を継承し、浜松市板屋町257番地に本田技研工業株式会社を設立 (資本金100万円、従業員34名)	エンジン組立(自転車補助エンジン)
1950	・ミシン工場を購入、東京都北区上十条5丁目35番地に東京工場を設立	二輪車(完成車組立)
1952	・埼玉県足立郡大和町白子の工場を購入、白子工場(埼玉工場)開設 ・東京工場を閉鎖し、業務を白子工場へ移管	二輪車(エンジン加工+組立) 二輪車(エンジン加工+組立+完成車組立)
1953	・埼玉県北足立郡大和町新倉に建設中の大和工場第一期工事完了 ・浜松市住吉町に住吉工場を設置 ・山下工場・野口工場・住吉工場を組織統合し、浜松製作所発足 ・白子工場・大和工場を組織統合し、埼玉製作所発足	二輪車(エンジン加工+組立+完成車組立) 二輪車(エンジン加工+組立) 二輪車(エンジン加工+組立+完成車組立) 二輪車(エンジン加工+組立)
1954	・浜松製作所 葵工場完成 ・野口工場を閉鎖し葵工場へ生産移管 ・山下工場を閉鎖し葵工場へ生産移管	二輪車(エンジン加工+組立+完成車組立) 二輪車(エンジン加工+組立)
1956	・住吉工場を閉鎖し葵工場へ生産移管	
1960	・鈴鹿製作所開設、二輪車スーパーカブの生産開始	二輪車(スーパーカブ)
1962	・埼玉製作所白子工場の工機部門が独立、工機製作所として発足	
1963	・埼玉製作所でホンダ初の四輪車 軽トラック T360生産開始 ・浜松製作所でS500生産開始	四輪車(T360) 四輪車(S500)
1964	・埼玉県狭山市に狭山製作所開設。四輪車生産工場・工機工場稼働開始	四輪車(S600 浜松製作所より移管)
1967	・鈴鹿製作所、四輪車TN360生産開始	四輪車(TN360)
1970	・栃木県真岡市に埼玉製作所真岡分工場開設、稼働	二輪車/四輪車部品(バルブ)
1973	・埼玉製作所と狭山製作所を統合し、埼玉製作所 狭山工場・和光工場とする	二輪車/四輪車部品(バルブ)
1976	・熊本製作所稼働開始	二輪車/四輪車部品(バルブ)
1982	・埼玉製作所真岡工場、エンジン組立開始	
1983	・浜松製作所に汎用機工場完成	パワープロダクツ
1984	・狭山工場での二輪車生産終了(浜松製作所に移管)	
1986	・埼玉製作所真岡工場を真岡部品製作所として発足	四輪車部品 バルブ・ドライブシャフト・クランクシャフト・アルミホイール
1990	・埼玉製作所栃木工場発足 NSX生産開始	四輪車(NSX)
1991	・鈴鹿製作所での二輪車生産終了、熊本製作所と浜松製作所へ生産移管	
1992	・埼玉製作所栃木工場を栃木製作所 高根沢工場、真岡部品製作所を栃木製作所 真岡工場に名称変更	四輪車(完成車・部品)
1993	・栃木製作所芳賀工場 設立(四輪車デファレンシャルギヤ・4WDリアデファレンシャル製作)	四輪車(部品)
2001	・浜松製作所細江工場完成、船外機BFシリーズを生産開始	パワープロダクツ(船外機)
2002	・和光工場のパワートレイン生産を狭山工場へ移管し閉所	
2004	・栃木製作所高根沢工場閉所 ・鈴鹿製作所、高根沢工場から移管車種(NSX、インサイト、S2000)生産開始	四輪車(完成車)
2005	・熊本製作所汎用機工場完成、生産開始	パワープロダクツ
2006	・八千代工業(株)を連結子会社とし、軽自動車事業とグローバルでの部品供給体制強化	

年	内容	業容
2006	・太陽電池事業子会社(株)ホンダソルテック設立	パワープロダクツ
2009	・浜松製作所の二輪車エンジン生産終了。熊本製作所への移管完了(完成車は2008年に移管済) ・埼玉製作所 小川工場稼働開始	四輪車(エンジン)
2013	・埼玉製作所 寄居工場稼働	四輪車(完成車)
2018	・八千代工業(株)の四輪完成車生産事業会社を完全子会社化、ホンダオートボディー(株)に 称号変更	四輪車(完成車)
2021	・四輪車エンジンやミッションの部品を製造するパワートレインユニット製造部 (栃木県真岡市)の生産を2025年中に終了することを決定 ・埼玉製作所狭山工場の完成車生産終了	

1-10：国内工場の概況

埼玉製作所　完成車工場
事業/業務内容:四輪車製造
設立:2013年7月
所在地:埼玉県 大里郡寄居町
生産開始:2013年7月
生産能力:25万台/年
主な製品:CIVIC、CIVIC TYPE-R、FREED、Honda e、STEPWGN、ZR-V

埼玉製作所　エンジン工場
事業/業務内容:四輪車用エンジン製造
設立:2009年4月
所在地:埼玉県 比企郡小川町
生産開始:2009年4月
生産能力:25万基/年
主な製品:四輪車エンジン

埼玉製作所　狭山工場
事業/業務内容:四輪車用部品製造
設立:1964年11月
所在地:埼玉県 狭山市

鈴鹿製作所
事業/業務内容:四輪車製造
設立:1960年4月
所在地:三重県 鈴鹿市
生産開始:1960年4月
生産能力:53万台/年(No.1+No.2)
主な製品:No.1 Line: N-BOX、Fit、JAZZ、Vezel、HR-V
No.2 Line: N-BOX、N-VAN、N-WGN、N-ONE

ホンダオートボディー株式会社
事業/業務内容:四輪車製造
設立:2018年4月
所在地:三重県 四日市市
生産開始:2018年4月
生産能力:3.6万台/年
主な製品:N-VAN

熊本製作所
事業/業務内容:二輪車及びパワープロダクツ製造
設立:1976年
所在地:熊本県 菊池郡大津町
生産開始:二輪車:1976年1月
パワープロダクツ:2002年1月
生産能力:二輪車:30.5万台/年 (ATV含む)
パワープロダクツ:完成機 10万台/年
ENG 3万基/年
主な製品:二輪車:中・大型二輪、50ccスクーター、Super Cub シリーズ、Cross Cub 等
パワープロダクツ:発電機、除雪機、耕うん機、蓄電機

細江船外機工場
事業/業務内容:パワープロダクツ製造
設立:2001年9月
所在地:静岡県 浜松市
生産開始:2001年8月
生産能力:4.9万台/年
主な製品:船外機

トランスミッション製造部
事業/業務内容:四輪車トランスミッション製造
設立:1954年4月
製造所在地:静岡県 浜松市
生産開始:1954年4月
主な製品:ミッション部品、モーター

パワートレインユニット製造部
事業/業務内容:四輪車用エンジン部品製造
設立:1970年12月
所在地:栃木県 真岡市
生産開始:1970年12月
主な製品:四輪車用エンジン部品、足回り部品、ミッション部品など

1-11：海外工場の概況

■北米・中南米

アメリカ
Honda Development and Manufacturing of America, LLC
事業/業務内容:四輪車及び四輪車用エンジン製造
設立:1978年2月
所在地:オハイオ州 メアリスビル(MAP)(Performance Manufacturing Center)/イーストリバティ(ELP)

生産開始:Marysville Auto Plant No.1:1982年11月
Marysville Auto Plant No.2:1985年12月
East Liberty Auto Plant:1989年12月
Performance Manufacturing Center:2016年 春
Anna Engine Plant:1985年7月
Indiana Auto Plant:2008年10月
Alabama Auto Plant No.1:2001年11月
Alabama Auto Plant No.2:2004年4月
Alabama Engine Plant:2001年11月
Transmission Plant-Georgia:2005年4月
Transmission Plant-Ohio:1997年1月

生産能力:Marysville Auto Plant No.1+No.2:44万台/年
East Liberty Auto Plant+Performance Manufacturing Center:24万台/年
Anna Engine Plant:118万基/年
Indiana Auto Plant:25万台/年
Alabama Auto Plant No.1+No.2:34万台/年
Alabama Engine Plant:34万基/年
Transmission Plant-Georgia:37.5万基/年
Transmission Plant-Ohio:100万基 AT及びCVT 他

主な製品:Marysville Auto Plant No.1:Accord、Acura TLX、Acura ILX、CR-V
Marysville Auto Plant No.2:Accord
East Liberty Auto Plant:CR-V、Acura MDX、Acura RDX
Performance Manufacturing Center:Honda& Acura NSX、Acura TLX PMC Edition、Acura MDX PMC Edition

Anna Engine Plant:L4/V6 Engines、CVT Pulleys
Indiana Auto Plant:Civic Sedan、CR-V、Insight
Alabama Auto Plant No.1:Odyssey、Ridgeline
Alabama Auto Plant No.2:Pilot、Passport
Alabama Engine Plant:V6 Engin
Transmission Plant-Georgia:四輪車オートマチックトランスミッション
Transmission Plant-Ohio:四輪車オートマチックトランスミッション、エンジン機能部品

American Honda Motor Co., Inc.
事業/業務内容:ATV(四輪バギー)及びATV用エンジン製造
設立:1997年4月
所在地:サウスカロライナ州ティモンズビル
生産開始:1998年7月
生産能力:15.3万台/年
主な製品:ATV Sport、ATV Utility、SXS Multi、SXS Sports

Honda North Carolina Manufacturing
事業/業務内容:パワープロダクツ製造
設立:1983年8月
所在地:ノースカロライナ州スウェプトンビル
生産開始:1984年8月
生産能力:完成機:79万台/年
ENG:200万基/年
主な製品:GCV、芝刈機、除雪機、ポンプ、耕うん機、発電機

カナダ
Honda Canada Inc.
事業/業務内容:四輪車及び四輪車用エンジン製造
設立:1969年9月
所在地:オンタリオ州マーカム(本社)
オンタリオ州アリストン(工場: Honda of Canada Mfg.)

生産開始:Plant 1:1986年11月
Plant 2:1998年9月
Engine Plant:2008年
生産能力:Plant 1:19.5万台/年
Plant 2:19.5万台/年
Engine Plant:26万基/年
主な製品:Plant 1:CIVIC 4D/2D
Plant 2:CR-V
Engine Plant:四輪車用エンジン

メキシコ
Honda de Mexico S.A. de C.V.
事業/業務内容:二輪車及び四輪車、パワープロダクツ製造
設立:1985年9月
所在地:ハリスコ州エルサルト

生産開始:El Salto plant:1995年11月
パワープロダクツ:2015年12月
Celaya Auto Plant:2014年2月
Celaya Transmission Plant:2015年7月
生産能力:El Salto plant:13万台/年(二輪)
パワープロダクツ:完成機:5万台/年
Celaya Auto Plant:20万台/年
Celaya Transmission Plant:35万基/年
主な製品:El Salto plant:二輪:CGL125、GL150、DIO、XR150L、Wave110S、CB190R、CB125F、CB160F、NAVI
パワープロダクツ:ポンプ
Celaya Auto Plant:HR-V
Celaya Transmission Plant:CVT

ブラジル
Honda Automoveis do Brasil Ltda.
事業/業務内容:四輪車製造
設立:1996年5月
所在地:第一工場:サンパウロ州 スマレ
第二工場:サンパウロ州イチラピーーナ市
生産開始:第一工場:スマレ工場:1997年
第二工場:イチラピーーナ工場:2019年
生産能力:12万台/年
主な製品:第一工場:Fit、Civic、City
第二工場:Fit、WR-V、HR-V

<p>Moto Honda da Amazonia Ltda.</p> 事業/業務内容:二輪車及びパワープロダクツ製造 設立:1977年12月 所在地:アマゾナス州マナウス 生産開始:二輪車:第一工場:1976年 <p>第二工場:2009年9月</p> パワープロダクツ:2001年6月 生産能力:二輪車:120万台/年 <p>パワープロダクツ:ENG 3.9万基/年</p> 完成機:0.5万台/年 主な製品:二輪車:CG160、Biz110/125、POP110i、NXR160、Elite125、ADV150、PCX150、SH150/300、CB Twister、CRF250F、XRE190/300、CB500F/X、CB/CBR650R、NC750X、CRF1100、CB1000、TRX420等 <p>パワープロダクツ:GX中型、ポンプ</p>

<p>Honda Componentes Da Amazonia Ltda.</p> 事業/業務内容:二輪車部品の製造 設立:1985年1月 所在地:マナウス

<p>アルゼンチン</p> Honda Motor de Argentina S.A. 事業/業務内容:二輪車製造 設立:1978年8月 所在地:ブエノスアイレス州 生産開始:二輪車:2006年6月 生産能力:9.3万台/年 主な製品:CG150、Wave110、CBF125、XR250 Tornado、XR150L、GLH150

<p>ペルー</p> Honda Selva del Peru S.A. 事業/業務内容:二輪車製造 設立:2006年9月 所在地:ロレト州イキトス 生産開始:2007年10月 生産能力:3.5万台/年 主な製品:Wave110、NSC125、XR150L、XR190L、XR190CT、GL125、CB190R、CB125F、NAVI、Dio

<p>■欧州</p>
<p>フランス</p> HONDA FRANCE MANUFACTURING S.A.S. 事業/業務内容:パワープロダクツ製造 設立:2008年4月(1986年1月 Honda Europe Power Equipment S.A.S設立、2008年4月より現会社) 所在地:オルム 生産開始:1986年1月(2008年4月 現Honda France Manufacturing S.A.S.設立) 生産能力:完成機: 41万台/年 主な製品:兼用芝刈機、電動芝刈機、耕うん機

<p>イタリア</p> Honda Italia Industriale, S.P.A. 事業/業務内容:二輪車製造 設立:1971年1月 所在地:アブルッツォ州アテッサ 生産開始:1976年 生産能力:13万台/年 主な製品:SH125/150/300、Forza125/250/300

<p>C.I.A.P. S.P.A.</p> 事業/業務内容:二輪車部品の製造 設立:1988年7月 所在地:ポローニャ
<p>スペイン</p> Montesa Honda, S.A.U. 事業/業務内容:二輪車完成車生産、二輪車・四輪車用補修部品とアクセサリー 設立:1986年7月 所在地:バルセロナ

<p>■アフリカ・中東</p>
<p>ケニヤ</p> Honda Motorcycle Kenya Limited 事業/業務内容:二輪車製造 設立:2013年3月 所在地:ナイロビ 生産開始:2013年10月 生産能力:3.5万台/年 主な製品:Ace110、Ace125、Ace125Tuff

<p>ナイジェリア</p> Honda Automobile Western Africa Ltd. 事業/業務内容:四輪車製造 設立:2013年4月 所在地:生産:オグン、営業・その他:ラゴス 生産開始:2015年7月 生産能力:1,000台/年 主な製品:Accord、HR-V
--

<p>Honda Manufacturing (Nigeria) Ltd.</p> 事業/業務内容:二輪車製造 設立:1979年7月 所在地:オグン 生産開始:1980年11月 生産能力:15.3万台/年 主な製品: Ace110、Ace125、CGL125、Dream

<p>ガーナ</p> Honda Manufacturing Ghana Ltd. 事業/業務内容:四輪車製造 設立:2022年9月 所在地:テマ
--

<p>■アジア・大洋州</p>
<p>中国</p> 東風本田汽車有限公司 Dongfeng Honda Automobile Co., Ltd. 事業/業務内容:四輪車製造 設立:2004年4月 所在地:湖北省 武漢市 生産開始:第一工場:2004年4月 <p>第二工場:2012年7月</p> 第三工場:2019年 生産能力:第一工場:24万台/年 <p>第二工場:24万台/年</p> 第三工場:24万台/年 主な製品:第一工場:CR-V、Inspire、UR-V、XR-V、X-NV、M-NV <p>第二工場:Civic、Civic Hatchback、Envix、Life</p> 第三工場:CR-V、Elysion
<p>広汽本田汽車有限公司</p> GAC Honda Automobile Co., Ltd. 事業/業務内容:四輪車製造 設立:1998年7月 所在地:広東省広州市 生産開始:黄埔工場(広汽本田 第一工場):1999年3月 <p>増城工場(広汽本田 第二工場):2006年9月</p> 増城工場(広汽本田 第三工場):2015年9月 <p>広州開発区工場(広汽本田 第四工場):2005年4月</p> 生産能力:黄埔工場(広汽本田 第一工場):24万台/年 <p>増城工場(広汽本田 第二工場):24万台/年</p> 増城工場(広汽本田 第三工場):24万台/年 <p>広州開発区工場(広汽本田 第四工場):5万台/年</p> 主な製品:黄埔工場(広汽本田 第一工場):Crider、Breeze <p>増城工場(広汽本田 第二工場):Accord、Odyssey、Avancier、Acura CDX、Acura RDX</p> 増城工場(広汽本田 第三工場):Fit、Vezel、Crider、理念VE-1 <p>広州開発区工場(広汽本田 第四工場):Accord</p>

<p>本田動力(中国)有限公司</p> Honda Power Products (China) Co., Ltd. 事業/業務内容:パワープロダクツ製造 設立:1993年1月 所在地:重慶市 生産開始:重慶工場:2002年8月 生産能力:完成機:18万台/年 <p>ENG:162万基/年</p> 主な製品:汎用エンジン、ポンプ、芝刈機、耕うん機
--

<p>本田動力(福州)有限公司</p> Honda Power Products (Fuzhou) Co., Ltd. 事業/業務内容:パワープロダクツ製造 設立:2021年1月 所在地:福州市 生産開始:福州工場:1995年6月 ※旧合弁会社より <p>福州工場:2015年4月 ※旧合弁会社より</p> 生産能力:福州工場:完成機:26万台/年 <p>福州工場:船外機:6万台/年</p> 主な製品:福州工場:発電機 <p>福州工場:船外機</p>
--

<p>新大洲本田摩托有限公司</p> Sundiro Honda Motorcycle Co., Ltd. 事業/業務内容:二輪車製造 設立:2001年11月 所在地:上海市 生産開始:太倉工場:2018年8月 生産能力:太倉工場:110万台/年 主な製品:太倉工場:【中国国内モデル】NSS350、CM300、CL300、CBF150C(LMC)、RX125/NS125LA(SC)、CBF190シリーズ、Honda Cross Cub <p>【輸出モデル】CGX125、CRF125/50、XR190/150、Wave等</p>
--

<p>五羊-本田摩托(広州)有限公司</p> Wuyang-Honda Motors (Guangzhou) Co., Ltd. 事業/業務内容:二輪車製造 設立:1992年8月 所在地:広東省 広州市 生産開始:第一工場:1992年8月 <p>第二工場:2014年12月</p> 生産能力:第一工場:100万台/年 <p>第二工場:25万台/年</p> 主な製品:【中国国内モデル】GL150(MC)、NSC125(SC)、V-GO(EV)、CB190(LMC)、NX125(SC)、NB-X(SC)、V1(EV)、V3(EV)、H3(EB) <p>【輸出モデル】CCG125、CGL125、GL150、GLR125、CB190R、SCR110、Benly (50/110/Pro) 、Benly e等</p>
--

<p>東風本田汽車零部件有限公司</p> Dongfeng Honda Auto Parts Co., Ltd. 事業/業務内容:四輪車用エンジン部品、足回り部品の製造 設立:1994年12月 所在地:広東省 恵州市
<p>東風本田発動機有限公司</p> Dongfeng Honda Engine Co., Ltd. 事業/業務内容:四輪車用エンジンの製造 設立:1998年7月 所在地:広東省 広州市

<p>本田汽車零部件製造有限公司</p> Honda Auto Parts Manufacturing Co., Ltd. 事業/業務内容:四輪車用部品(トランスミッション等)の製造 設立:2005年9月 所在地:広東省佛山市

タイ

Honda Automobile (Thailand) Co., Ltd.
事業/業務内容:四輪車製造
設立:2000年12月
所在地:第一工場:アユタヤ ロジャーナ工業団地
第二工場:ブラチンプリ ロジャーナ工業団地
生産能力:アユタヤ工場:15万台/年
ブラチンプリ工場:12万台/年
主な製品:アユタヤ工場:Accord、BR-V、HR-V、CR-V、Civic
ブラチンプリ工場:Civic Hatchback、Jazz、City Sedan、City Hatchback

Thai Honda Co., Ltd.
事業/業務内容:二輪車の製造・販売及びパワープロダクツ生産
設立:2021年3月
所在地:バンコク
生産開始:二輪車:1967年5月 ※前身企業による生産開始の時期
パワープロダクツ:1987年2月
生産能力:二輪車:170万台/年
パワープロダクツ:完成機 18万台/年
ENG 272万基/年
主な製品:二輪車:Wave110シリーズ、Click、Scoopy、CBR150R、CBR300シリーズ、CB500シリーズ、CB650シリーズ、CBF125/150、Rebelシリーズ、MSX、PCX、Monkey 125、C125、Forza、ZoomerX、ADV150
パワープロダクツ:GX小/中/大、ポンプ、刈払機、GXV、動力噴霧機

Asian Parts Manufacturing Co., Ltd.
事業/業務内容:四輪車補修用板金部品の製造
設立:2006年4月
所在地:アユタヤ

バングラディッシュ
Bangladesh Honda Private Limited
事業/業務内容:二輪車製造
設立:2012年12月
所在地:ムンシゴンジ
生産開始:2013年10月
生産能力:12万台/年
主な製品:Dream110、Shine SP、X Blade 、Livo、Hornet

インド
Honda Cars India Ltd.
事業/業務内容:四輪車製造
設立:1995年12月
所在地:第一工場:ウツタル プラデッシュ州グレートアーノイダ
第二工場:ラジャスタン州 タブカラ
生産能力:タブカラ工場:18万台/年
主な製品:Amaze、City、Jazz、WR-V

Honda Motorcycle And Scooter India Pvt. Ltd.
事業/業務内容:二輪車製造
設立:1999年8月
所在地:第一工場:ハリアナ州 グルグラム地区 マネサール
第二工場:ラジャスタン州 アルフル地区 タブカラ
第三工場:カルナータカ州 ベンガルール地区 ナルサプーラ
第四工場:グジャラート州 アーメダバード地区 ヴィツタルプール
生産開始:第一工場:2001年5月
第二工場:2011年7月
第三工場:2013年6月
第四工場:2016年2月(第一ライン)
2016年6月(第二ライン)

生産能力:第一工場:40万台/年
第二工場:120万台/年
第三工場:240万台/年
第四工場:120万台/年
主な製品:第一工場:Activa、Dio、Activa125、X- Blade、Unicorn、CB Twister、CD Dream、Dream Neo、CB HORNET 160R、Hornet 2.0 CBR650R、CBR250R、Africa Twin、CB300R、H'ness CB350
第二工場:Activa、Dio、NAVI、Shine、SP125、Livo
第三工場:Activa、Dio、Shine、SP125、Livo、Dream Yuga
第四工場:Activa、Dio、Activa125、Grazia

Honda India Power Products Ltd.
事業/業務内容:パワープロダクツ製造
設立:1985年5月
所在地:ウツタル プラデッシュ州グレートアーノイダ
生産開始:1988年2月
生産能力:完成機:11万台/年
ENG:24万基/年
主な製品:ME、OHV100、発電機

インドネシア
PT. Astra Honda Motor
事業/業務内容:二輪車製造
設立:2001年1月
所在地:ジャカルタ
生産開始:第一工場:1971年(技術提携)
第二工場:1996年
第三工場:2005年
第四工場:2014年5月
第五工場:2015年8月
生産能力:第一工場:83万台/年
第二工場:47万台/年
第三工場:208万台/年
第四工場:104万台/年
第五工場:99万台/年
主な製品:第一工場:スクータータイプ(BeAT)、プレミアムAT(PCX、ADV150)
第二工場:カブタイプ(Supra X、Revo)
第三工場:スクータータイプ(BeAT、Vario125、Scoopy、Genio)
第四工場:スクータータイプ(Vario125/150、BeAT)
第五工場:スポーツタイプ(CB150R、CBR150R、CBR250RR、CRF150、SupraGTR、Sonic、Verza)、スクータータイプ(BeAT)

P.T. Honda Prospect Motor
事業/業務内容:四輪車製造
設立:1999年3月
所在地:ジャカルタ近郊カラワン工業団地
生産開始:第一工場:2003年02月
第二工場:2014年1月
生産能力:第一工場:8万台/年
第二工場:12万台/年
主な製品:第一工場:CR-V、HR-V、Mobilio
第二工場:Mobilio、Jazz、Brio RS、Brio Satya、BR-V

PT.Honda Power Products Production
事業/業務内容:パワープロダクツ製造
設立:2015年1月
所在地:ジャカルタ
生産開始:2015年6月
生産能力:完成機:7万台/年
主な製品:ポンプ、刈払機

P.T. Honda Precision Parts Manufacturing
事業/業務内容:オートマチック・四輪車用トランスミッションの製造・販売
設立:2002年6月
所在地:西ジャワ州

マレーシア
Boon Siew Honda Sdn.Bhd
事業/業務内容:二輪車製造
設立:2009年1月
所在地:ベナン州
生産開始:1957年(現会社としては1983年12月～)
生産能力:32万台/年
主な製品:Vario、BeAT、RS150R、Dash125、Wave125、Wave Alpha

Honda Malaysia Sdn Bhd.
事業/業務内容:四輪車製造
設立:2000年11月
所在地:マラッカ州
生産開始:No.1:2002年10月
No.2:2013年10月
生産能力:No.1:5万台/年
No.2:5万台/年
主な製品:No.1:Civic、Accord、CR-V
No.2:City、Jazz、HR-V、BR-V

Honda Assembly (Malaysia) Sdn. Bhd.
事業/業務内容:四輪車用エンジン製造
設立:2013年4月
所在地:マラッカ州

パキスタン
Atlas Honda Limited
事業/業務内容:二輪車製造
設立:1962年10月
所在地:カラチ
生産開始:カラチ工場:1964年
シェクブラ工場:1982年
生産能力:カラチ工場:18万台/年
シェクブラ工場:117万台/年
主な製品:カラチ工場:CD70
シェクブラ工場:CD70、CD70 Dream、Pridor、CG125、CG125 Self、CB125F、CB150F

Honda Atlas Cars (Pakistan) Limited
事業/業務内容:四輪車製造
設立:1992年11月
所在地:ラホール
生産開始:1994年
生産能力:5万台/年
主な製品:CIVIC、CITY、BR-V

フィリピン
Honda Philippines Inc.
事業/業務内容:二輪車製造
設立:1973年6月
所在地:バダングス
生産開始:1973年(現会社としては1983年12月～)
生産能力:62万台/年
主な製品:XRM125、XRM RS、Wave110、Wave110α、TMX125α、TMX Supremo、XR150、BeAT

Honda Parts Manufacturing Corp.
事業/業務内容:四輪マニュアルトランスミッションの製造
設立:1992年12月
所在地:ラグーナ州ビニャン

ベトナム

Honda Vietnam Co., Ltd.

事業/業務内容:二輪車及び四輪車製造

設立:1996年3月

所在地:二輪車:第一工場:ビンフック省

二輪車:第二工場:ビンフック省

二輪車:第三工場:ハナム省

四輪車:ビンフック省

生産開始:二輪車:第一工場:1997年12月

二輪車:第二工場:2008年8月

二輪車:第三工場:2014年3月(parts)

2014年11月(CBU)

四輪車:2006年7月

生産能力:二輪車:第一工場:50万台/年

二輪車:第二工場:100万台/年

二輪車:第三工場:100万台/年

四輪車:2.3万台/年

主な製品:二輪車:第一工場:Wave Alpha、Wave RSX、Blade

二輪車:第二工場:Wave Alpha、Future、Vision、SHシリーズ、

PCX、Winner-X

二輪車:第三工場:LEAD、Vision、SH mode、Air Bladeシリーズ

四輪車:CITY

Vietnam Autoparts Co., Ltd

事業/業務内容:二輪車用アルミ部品(シリンダー、ミッションケース、ハブ、
外観部品、キャストホイール等)製造

設立:2003年10月

所在地:フナイエン

オーストラリア

Honda Australia M.C. & P.E. Pty Ltd.

事業/業務内容:パワープロダクツ製造

設立:1987年2月

所在地:ビクトリア州

生産開始:1991年10月

生産能力:12万台/年

主な製品:刈払機、芝刈機

台湾

台湾本田汽車股份有限公司

Honda Taiwan Motor Co., Ltd.

事業/業務内容:四輪車製造

設立:2007年3月

所在地:ピントン

生産開始:2002年6月

生産能力:3万台/年

主な製品:CR-V、HR-V、Fit

